

突然起こりうる予測不可能な災害

「地震・津波」時の避難行動

平成17年3月に発生した福岡県西方沖地震では、市内で最大震度6弱を観測しました。いつ起こるか分からない地震や津波には、日頃からの心構えが重要です。

地震

まずは地震から自分の身を守る

地震は、揺れへの備えだけでは十分ではありません。発生から時間とともに変わっていく、注意すべき事柄を知っておきましょう。

STEP
1

グラツきたたら
(地震発生0～3分)

机の下に入る、クッションで頭を保護するなどして、自分の身を守りましょう。

STEP
2

大きな揺れが
収まったら
(地震発生3～5分)

避難する場合は、必ずブレーカーやガスの元栓を切って火災発生を阻止しましょう。

STEP
3

状況を把握
(地震発生5～10分)

家族の身の安全を確認し、災害情報、避難情報などを入手しましょう。

津波

津波の特性を理解しておく

地震に伴い津波が発生する可能性があります。事前に避難の方法などを知っておきましょう。

STEP
1

すぐに
高い場所へ

津波注意報が発表された場合は、速やかに海岸や河口から離れ、津波警報が発表された場合は、高台や高い建物に速やかに避難しましょう。

STEP
2

危険箇所に
戻らない

津波は時間をおいて繰り返し発生するため、一度収まっても油断しないでください。第1波で助かって2波、3波で命を落とす危険性があります。

STEP
3

川から離れる

津波は、海岸だけでなく、川を遡上(逆流)して川岸にも押し寄せてくるので、川からも速やかに離れましょう。

屋外に出て指定された避難所等へ移動(水平避難)することが危険と感じる場合や、その余裕がない場合は、自宅や隣接建物の2階以上へ避難(垂直避難)することが安全な場合もあります。

6月～10月にかけて起こりやすい災害

「風水害・土砂災害」時の避難行動

台風や豪雨による「風水害・土砂災害」から命を守るには、事前の対策と、気象状況をこまめにチェックして、状況に応じた正しい避難行動をとりましょう。

「避難」って何をすればいいの？

小学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。

※雨・風がひどくなる前に、避難しましょう。また、事前に避難する場所までの経路を確認し、途中で危険な場所がないか調べておきましょう。

1 行政が指定した避難場所への 立退き避難

【自ら携帯するもの】
・マスク・消毒液・体温計・スリッパ等
(P16・17の備蓄リストやP22・23の記載もご参照ください。)

2 安全な親戚・知人宅への 立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

3 安全なホテル・旅館への 立退き避難

通常の宿泊料が必要です。
事前に予約・確認しましょう。
※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

4 屋内安全確保

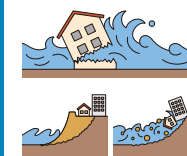
ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

普段から
どう行動するか
決めて
おきましょう

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です。

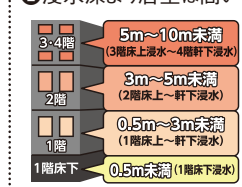
①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない(入っていると…)



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が削られ家屋は建物ごと崩壊するおそれがあります

②浸水深より居室は高い



③水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります。



内閣府(防災担当)・消防庁「新たな避難情報に関するポスター・チラシ」より引用

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。

浸水や土砂災害が発生する恐れのある地域は下記で確認してください。

福岡市総合ハザードマップ

検索



知って安心

スマホで防災情報ゲット

今や生活に欠かせないスマートフォン。この最も身近な情報入手手段でも、メールやアプリなどさまざまな方法で防災情報を取得できます。今スグ、登録してみよう！

登録またはアプリをダウンロードすると 情報が配信されるもの

福岡市LINE公式アカウント

「防災」「子育て」などから自分が欲しい情報を選択することで対象の情報だけが届きます。

登録方法⇒右記を読みこみ
友達追加ボタンをクリック



福岡市防災メール

避難情報や注意報・警報、震度3以上の地震など、防災に関する情報のほか、防災気象情報や環境情報など、スマホやパソコンへ電子メールで配信します。



登録方法⇒左記を読みこみ
t-fukuoka-city@sg-p.jpへ 空
メールを送信⇒届いたURLにア
クセス⇒登録完了

福岡市防災アプリ『ツナガル+』

災害時に付近の開設避難所を一覧、地図で表示するほか、電子掲示板機能で避難所内での情報共有ができます。また、福岡市からの災害に関するお知らせや支援情報も入手できます。

登録方法⇒右記を読みこみ
アプリをインストール



自分でアクセスして情報を入手するもの

福岡市防災・気象情報サイト (<http://bousai.city.fukuoka.lg.jp/>)

警報・注意報、雨量などの気象情報、河川水位や河川の画像など、防災に関するさまざまな情報が見られます。



自動で情報が配信されるもの

緊急速報メール(エリアメール)

気象庁が配信する「緊急地震速報」や、国・自治体が配信する「災害・避難情報」などが、対象エリアにいる人へ一斉に配信されます。

アラームが鳴った場合は、ただちに身の安全を確保しましょう。

災害時に慌てないために

知っておこう 正しい情報の集め方

災害時、正確な情報を入手することは何よりも大事です。情報の取得方法や緊急時に発令される避難情報について紹介します。

知っておきたい情報入手法

イチオシ!!

インターネット

避難所開設状況など福岡市から発信する情報は、市ホームページ(防災情報)から入手できます。



テレビ

最新の気象情報や避難情報、交通機関の状況などの情報入手に便利。リモコンのdボタンを押せば、防災情報を簡単に入手できます。ただし、停電時には使えないので注意が必要。

ラジオ

停電時でも使える電池式の携帯ラジオは防災アイテムの必需品！東日本大震災でも、地域に密着した情報を発信し続けたラジオの価値が、改めて見直されています。FMとAM両方が聞けるものがオススメ。予備の電池も忘れずに。

アベさん体験談

震災当時、停電のためにテレビは映らず、大津波が東日本をのみこんでいるなんてまったく知りませんでした。スマホの充電もすぐになくなってしまい、ラジオは大切な情報源になりました。



市から発令される避難情報をチェック

なるべく早く避難を

警戒レベル ③

避難に時間のかかる高齢者や障がいがある人は、危険な場所から避難を。

高齢者等避難

・避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は、危険な場所から避難をしてください。
・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難をするタイミングです。

警戒レベル ④

危険な場所から全員避難！

避難指示

・速やかに避難場所に避難しましょう。
・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

警戒レベル ⑤

すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。命を守るための最善の行動を！

緊急安全確保

※必ず発令される情報ではありません。
・すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません。

いざという時に慌てずに行動できるよう
「マイ・タイムライン」を作っておきましょう

